

リーディングDXスクール事業【実践事例】

湖南省立石部中学校

【取組内容】「Teamsの活用を促し、まずやってみる」

リーディングDXスクール 令和6年度リーディングDXスクール事業

背景・課題 予算額 2億円

- GIGAスクール構想に基づく端末整備はほぼ完了したが、自治体間・学校間で端末運用に大きな格差が生じている。また、1人1台端末を前提とした指導は全く新たな取組であるため、教育課程上の工夫や指導技術が十分に蓄積していない。→ 日常授業の改善を中心とする効果的な実践例（授業技術、授業プログラム）を抽出・モデル化し、都道府県等の域内で校務を越えて横断的に全国展開することで、学校でICTの「普段使い」による教育活動の高度化を実現する。
- 生成AIの技術革新やサービス開発が飛躍的なスピードで進んでいる中、教育現場においても、様々な活用のモデルを指摘する声がある一方、子供がAIの回答を鵜呑みにするのではという等、懸念やリスクも指摘されている。→ 生成AIの利用に関するガイドラインをもとに、生成AIを取り巻く懸念やリスクに十分な対策を講じている一部の学校において、個人情報保護やセキュリティ、著作権等に十分に留意しつつ、パイロット的な取組を進める。

実施内容 #事例抽出 #GIGA #クラウド活用 #端末の日常活用

I. 実践創出、普及・展開

リーディング指定校：256校 (小135,中106,高11,その他4)

- 指定箇所（教育委員会）104箇所
- ※原則、同じ中学校区の小・中学校を組み合わせ
- 経費：1箇所 100万円程度
- 指定校等視察旅費、講師謝金、学習会等参加旅費 他
- 選定方法：公募（とりまとめ団体で公募を実施）
- その他：学校DX戦略アドバイザーを年間10回優先派遣（事業経費とは別に、全額国費負担）

GIGA端末・クラウド環境を活用し、端末の日常使いを一層推進

実践事例の普及・展開

指定校

（参考）R5
リーディング指定校215校
(小115,中94,高3,その他3)

II. 生成AI実践

生成AIパイロット校：66校 (教育利用49,校務利用61,両方44)

※1. 事例抽出、普及・展開を実施する指定校で、生成AIパイロット校の指定を希望する学校を公募し、審査を経て選定

※AIパイロット校としての別途経費なし

生成AIを活用した教育活動の充実や校務事務（校務含む）の効率化の事例を抽出

- 生成AIの教育活動での活用（教育活用）
- 生成AIの校務における活用（校務活用）の事例
- 複数校で同時・異業、研修のオンライン公開など広域域内外に普及
- 学校Webサイト等に活用の様子、授業公開日時、研修会公開予定等の公開を行うこと。

（参考）R5
生成AIパイロット校52校

特設サイト

掲載事例数 1,651 R5公開学習会 申し込み数 30,180 (GIGA端末学習会含む)

事例紹介動画再生総数 94,147回 授業数 36本 (授業公開)

サイト閲覧数 39万

（参考）R5
再生回数！2.5万回突破！

※事例抽出に向けた指定校の設置、奔走支援
※ポータルサイトの作成・運営、解説動画作成 → 様々な実践事例の普及・展開
※全国の教師を対象とした、学習会等の開催

文部科学省 初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチーム

文部科学省 初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチーム

令和6年度文部科学省指定校事業

リーディングDXスクール

MEXT

GIGA
標準仕様

×

クラウド環境
十全な活用

全国の小・中・高等学校
256校を指定！

GIGA

×

生成AI

生成AIパイロット校
66校を指定！

個別最適な学びと協働的な学び
の一体的な充実や校務DX
を実施し、全国に事例を展開

教育利用！

校務利用！

指定校の実践事例から学ぶ
公開学習会を開催！

学校での端末の「普段使い」による
教育活動の更なる推進

石部中学校は、リーディングDXスクール事業の指定校となり、学校での端末の「普段使い」による教育活動をさらに推進した。

校務でもTeams等のクラウド環境を活用し、校務DXに取り組んだ。体験した教職員は、次は授業や他の会議でもクラウドを使って進めたいようになるように取り組んだ。まずは教職員。そして生徒へ。二段階の展開を進めた。

